

# 安土城考古博物館展示見直しの検討状況について

## 1 見直しの背景

### 館の歴史と設立主旨

昭和45年 近江風土記の丘資料館として開館  
平成4年 滋賀県立安土城考古博物館として開館  
平成8年 公開承認施設となる

設置条例: 近江風土記の丘その他県内の文化財  
および文化財に関する資料の収集、整理、  
保管、展示

位置づけ: 風土記の丘を構成する4つの史跡をテーマ  
に活動。城と考古のテーマ博物館

### 入館者の推移

平成6年(8.5万人)をピークに漸減傾向  
平成20年あたりまでは5~6万人 近年は4万人前後

### 館の強み

豊富な収藏品: 考古・歴史・美術 館のテーマに合わせた資料収集  
戦国織豊期のコレクション、摠見寺の寄託品  
立地: 戦国末・織豊期の近江の拠点城郭が近所に存在  
豊富な展覧会実績: 城と考古をテーマに固定ファン有り

### 社会情勢の変化

人口減少 高齢化 訪日外国人の増加 コロナの流行  
文化財保護法の改正・文化財保存活用大綱の策定  
保護と活用のバランス「保存なくして活用なし」

### 利用者のニーズ

来館者の中核: 県外 男性 中高年  
リピート率3割 9割の利用者が展示内容に満足  
アンケートでは展示コンセプト、展示内容や展示手法の  
問題点を指摘

### 課題

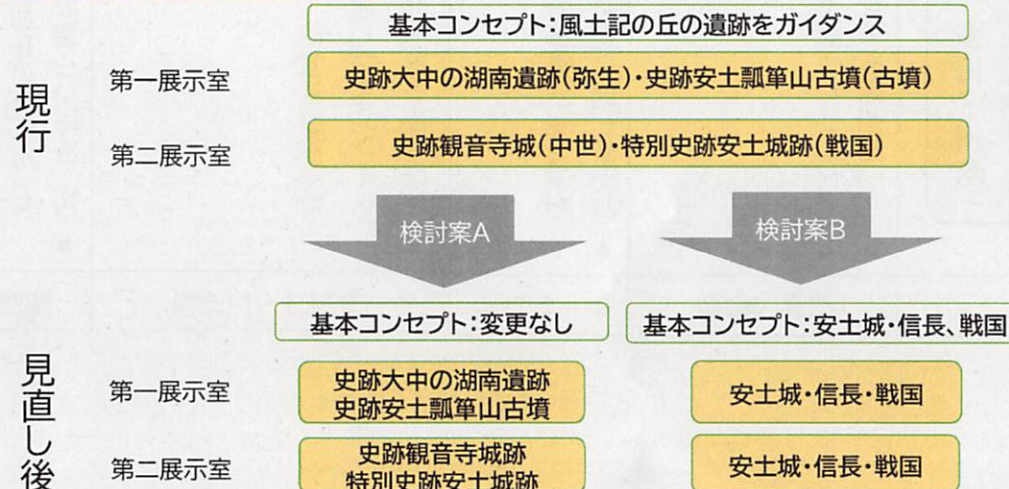
「幻の安土城」復元プロジェクトの中核施設としての機能強化が必要。

- ①利用者ニーズとの乖離: 展示コンセプト・テーマがそぐわない
- ②設備・展示物が老朽化: 開館以来常設展示に変化がなく、最新の調査研究成果が反映されていない。手法が陳腐。
- ③公開承認施設の機能維持が必要: 空間環境、設備・展示ケース
- ④利用者サービスの充実: 多言語対応、オンラインコンテンツの充実
- ⑤集客性の向上: 安土城との連携強化

### 見直しについて有識者の意見

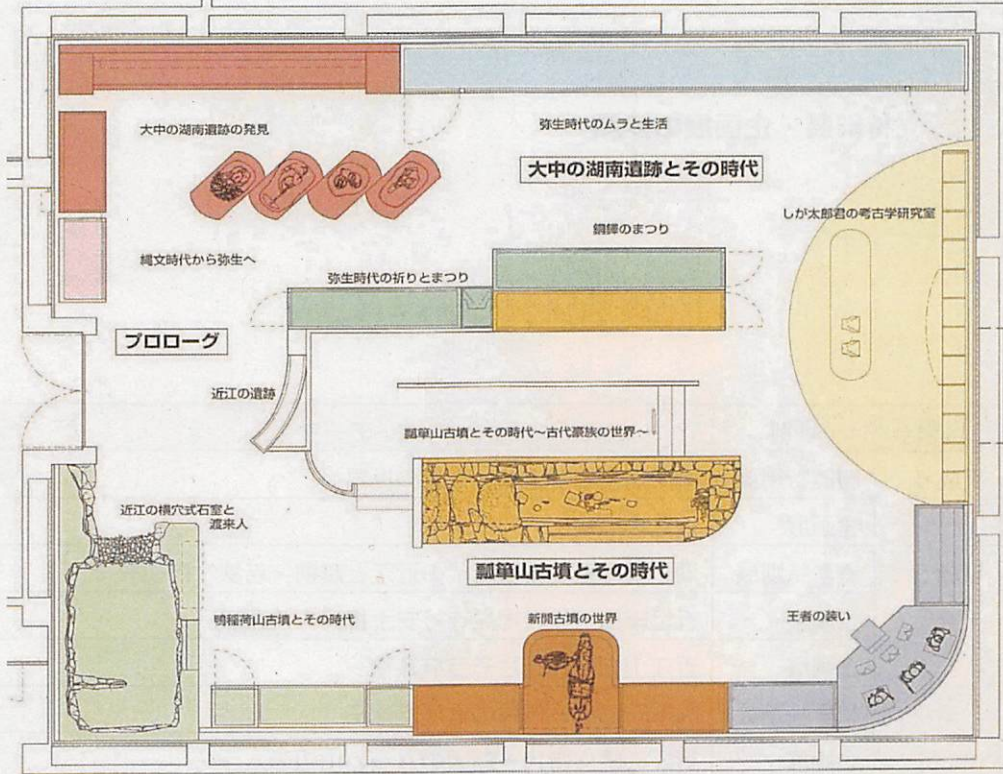
- ・集客には思い切った方向転換が必要。
- ・安土城の最新の調査研究成果を反映した展示をすべき。
- ・安土城の展示は、他ではできない、滋賀県でしかできないこと。役割を明確に。
- ・戦国織豊期の館蔵コレクションをもっと活用した展示を。
- ・ターゲットの明確化。これまでの中高年男性に加え、家族づれ・子どもを取り込むことが必要。
- ・ヴァーチャルなど新しい展示手法を取り入れ、子どもたちとその家族を取り込むこと。
- ・学校の活動へむけ周辺施設や史跡との連携し長時間滞在が可能、体験学習ができる場に。

## 2 見直しの基本方針

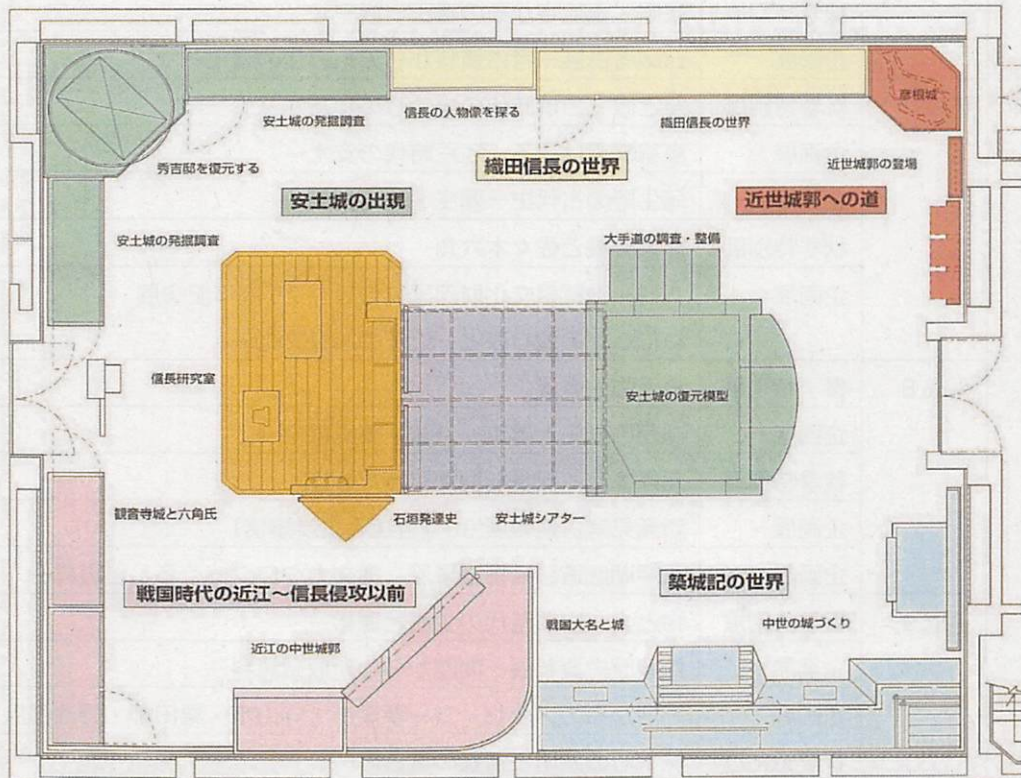


## 展示見直しの基本方針

	【A案】現状の展示コンセプトを維持する展示	【B案】安土城・信長・戦国をテーマとする展示
テーマ		
特徴・役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近江風土記の丘の史跡を巡るガイドランスとしての展示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新しいデジタル技術等を活用し、従来のイメージを払拭。ここにしかない、ここでしか見ることができない展示</li> <li>● 「幻の安土城復元プロジェクト」の中核施設・情報拠点施設</li> </ul>
ターゲット	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近江風土記の丘の史跡や県内の考古・歴史に広く興味がある人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大人から次世代を担う子ども</li> <li>● 戦国ファン</li> </ul>
リニューアル感	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示造作や手法は新しくなるが、扱うテーマや内容に変化がないため、インパクトに欠ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 展示コンセプトやテーマが明確となり、分かりやすくなる</li> <li>● テーマを絞り内容の充実やスペースの拡大を図ることにより、デジタル技術や大型映像等を使った展示など、リニューアル感を創出しやすい</li> </ul>
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 25年ぶりに展示具や手法が刷新され、古代から中世までの地域の歴史を改めて学ぶことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「安土城・信長・戦国」のロマンを求めて訪れる利用者の期待と一致する</li> <li>● 安土城跡と本館の一体性が生まれる</li> <li>● 隣接する信長の館との集客数の差を埋めることができる</li> </ul>
課題・方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「安土城・信長・戦国」のロマンを求めて訪れる利用者の期待に応えられない</li> <li>● ここにしかない独自性や安土城跡の立地特性を活かしきれず、現状以上の大きな集客が見込めない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 弥生時代や古墳時代の展示がなくなるため、近江風土記の丘としてのガイドランス色が薄れる</li> </ul>



第1常設展示室平面図



第2常設展示室平面図

## 特別展・企画展の実績

年度	種別	テーマ
平成 4	開館特別展	織田信長と安土城ー信長の世界
	企画展	近江の埴輪
平成 5	春季特別展	湖と海の王ー古墳時代の近江と越前・若狭・丹後ー
	企画展	近世織田一族と摠見寺ー安土摠見寺文書展ー
	企画展	近江上布ー涼をさそう麻織物ー
	秋季特別展	天下布武へー信長の近江支配ー
	企画展	近江の縄文時代ー湖辺のムラと山辺のムラー
平成 6	春季特別展	弥生の祈り人ーよみがえる農耕祭祀ー
	企画展	鉄砲のカラクリー近世の技術革新ー
	企画展	古代文化の交差点ー文化は坂田郡を通ったー
	秋季特別展	残照ー本能寺からの織田一族ー
	企画展	館蔵考古展ー考古資料からみた近江の歴史ー
平成 7	春季特別展	祭と政ー古墳時代のまつりのかたちー
	企画展	東家文書は語るー江戸時代の安土ー
	企画展	蒲生野の古代史ー蒲生・神崎郡展ー
	秋季特別展	観音寺城と佐々木六角
	企画展	(財)滋賀県文化財保護協会設立 25 周年記念展 いにしへの渡りびとー近江の渡来文化ー
平成 8	春季特別展	墓と弥生時代
	企画展	湖西の歴史と風土ー滋賀・高島郡展ー
	秋季特別展	元亀争乱ー信長を迎え討った近江ー
	企画展	新発見考古速報展'96 (近江考古学事情)
	企画展	栗津湖底遺跡発掘成果展 縄文カタログーくらしと道具ー
平成 9	春季特別展	物と人ー古墳時代の生産と運搬ー
	企画展	館蔵歴史資料展ー開館からの新収蔵資料ー
	企画展	大地からのメッセージー草津市・守山市・栗田郡・野洲郡展ー
	秋季特別展	城下町の黎明ー信長の城と町ー
	企画展	長浜新川関連遺跡発掘調査成果展 長浜ーいにしえ巡礼ー

平成 10	春季特別展	ムラの変貌—稲作と弥生文化—
	企画展	鹿深—甲賀郡の歴史と文化—
	秋季特別展	琵琶湖と中世の人々—信長以前、信長以後—
	企画展	赤野井湾遺跡発掘調査成果展—かつて、湖のほとりで—
平成 11	春季特別展	寧處に違あらず—古墳時代の戦乱—
	企画展	あ！この遺跡知ってる！—親子で楽しむ考古学—
	秋季特別展	特別史跡安土城跡発掘調査 10 周年成果展 安土城 1999
	企画展	さざなみの志賀—穴太遺跡から穴太廃寺へ—
平成 12	春季特別展	楽浪海中に倭人有り—2000 年前の日本列島—
	企画展	学校の宝物—親子で楽しむ考古学 2—
	秋季特別展	信長文書の世界
	企画展	(財)滋賀県文化財保護協会設立 30 周年記念展 近江発掘創世記—湖西線・長浜バイパス関連遺跡—
平成 13	春季特別展	韓国より渡り来て—古代国家の形成と渡来人—
	秋季特別展	是非に及ばず—本能寺の変を考える—
	企画展	陸路・海路の考古学—高島・湖北バイパス関連遺跡—
平成 14	春季特別展	共に—女子を立て
	企画展	国芳の描く中三道—岐阜県博物館所蔵品を中心に—
	秋季特別展	近江源氏と沙沙貴神社
	企画展	湖辺集落を読む—新守山川関連遺跡—
平成 15	春季特別展	日継知らず可き王無し
	企画展	小さな遺物見つけた!!—親子で楽しむ考古学 3—
	秋季特別展	信長と宗教勢力
	企画展	草津川発掘絵巻—新草津川関連遺跡発掘調査成果展—
平成 16	春季特別展	日は人作り 夜は神作る
	企画展	影の戦士たち—甲賀忍者の実像に迫る—親子で楽しむ考古学 4—
	秋季特別展	戦国安土桃山の造像
	企画展	謎の敏満寺を再現する—中世の寺・町・城—
平成 17	春季特別展	王権と木製威信具
	企画展	聖武天皇とその時代—天平文化と近江—
	秋季特別展	蒲生氏郷
	企画展	扇状地の考古学—愛知・犬上の古代文化—
平成 18	春季特別展	吾天下を左治す
	企画展	丸木舟の時代—びわ湖と古代人—
	秋季特別展	信長の城・秀吉の城

	企画展	甲賀郡の風土と遺宝
平成 19	春季特別展	縄文から弥生へ
	企画展	城と城下町－彦根藩と膳所藩を中心に－
	秋季特別展	戦国安土桃山の造像 II
	企画展	信長と安土城－収蔵品で語る戦国の歴史－
平成 20	春季特別展	仏法の初めこれより作れり
	企画展	古代地方木簡の世紀－西河原木簡を中心に－
	秋季特別展	天下人を記る
	特別展	水の浄土・琵琶湖－琵琶湖文化館の収蔵品を中心に－
	企画展	大設楽焼展－出土資料を中心に－
平成 21	春季特別展	大型建物から見えてくるもの
	企画展	水中考古学の世界－琵琶湖湖底の遺跡を掘る－
	秋季特別展	戦国の城
	特別展	よみがえった文化財－琵琶湖文化館の収蔵品とその世界－
	企画展	湖西の風土と遺宝－高島郡を中心に－
平成 22	春季特別展	導水施設と埴輪群像から見えてくるもの
	企画展	戦国の琵琶湖－近江の城の物語－
	秋季特別展	室町最後の将軍－足利義昭と織田信長－
	特別展	四季の花に遊ぶ鳥－琵琶湖文化館収蔵品から－
	企画展	近江の観音像と西国三十三所巡礼
平成 23	春季特別展	大岩山銅鐸から見えてくるもの
	企画展	大国近江の壮麗な国府
	秋季特別展	武將が継った神仏たち
	特別展	昇る昇れ昇るとき－日輪と龍のメッセージ－
	企画展	縄文人が語るもの
平成 24	春季特別展	湖を見つめた王
	企画展	湖の船が結ぶ絆－天智天皇、信長の大船 そしてうみのこ－
	秋季特別展	信長×信玄 戦国のうねりの中で
	企画展	暮らしが生んだ絶景
	企画展	蒲生郡の風土と遺宝
平成 25	春季特別展	しのぎをけづり、鏑をわり－近江の城、信長とかく戦えり－
	夏季特別展	華麗なる漁と美味なる食－魚・人・琵琶湖の過去・現在・未来－
	企画展	新たな国民のたから－文化庁購入文化財展－
	企画展	文化財の達人たち
	冬季特別展	近江三都物語－大津宮・紫香楽宮・保良宮－

平成 26	春季特別展	安土城への道ー聖地から城郭へー
	企画展	湖底遺跡が語る湖底二万年の歴史
	秋季特別展	造形衝動の一万年ー縄文の宇宙／円空の衝撃／アール・ブリュッ トの情熱ー
	企画展	人の性、酒ヲ嗜ムー神を招き人を結ぶー
平成 27	春季特別展	戦国合戦のかたちー川中島合戦から大阪の陣までー
	企画展	よみがえる弥生のムラー大中の湖南遺跡発掘 50 年ー
	秋季特別展	倭五王海を渡る
	企画展	大湖北展
	企画展	琵琶湖文化館特別陳列ー表現された神と仏ー
平成 28	春季特別展	信長の家臣たち
	企画展	近江の古墳時代
	秋季特別展	飛鳥から近江へ
	企画展	大湖南展
平成 29	春季特別展	信長のプロフィール
	企画展	近江の城を掘る
	秋季特別展	青銅の鐸と武器
	企画展	収蔵品で語る城郭と考古
平成 30	春季特別展	武将たちは何故、神になるのか
	企画展	寺と城ー近江の瓦ー
	秋季特別展	キミそっくりな古代人がいたよ
	企画展	近江の考古学黎明期
令和 1	春季特別展	安土ー信長の城と城下町ー
	企画展	塩津港遺跡発掘調査成果展ー古代の神社と祭祀を中心にー
	秋季特別展	「動物美術館」開演！
	企画展	安土・桃山時代の近江展ー琵琶湖文化館収蔵品を中心にー